


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸第二養護	学校			
授業について	教科領域名 (<input checked="" type="checkbox"/> 又は <input checked="" type="checkbox"/> で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
	単元(題材)名	朝の会をしよう					
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察で呼名に応じることができる。(全員) ・友達の前で、正しい写真を選んで押して呼名することができる。(当番) 					
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1年生、3年生(複式学級)	年	5	人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全員発語はなく、教師に名前を呼ばれたら手を挙げたり元気ポーズをしたりすることで、健康観察をすることができる。 ・教師や友達に声を掛けられると笑顔でこたえることができる。 					
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad					
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 コミュニケーションアプリ「えこみゅ」					アプリマーク 
	主な活用の用途 (<input checked="" type="checkbox"/> 又は <input checked="" type="checkbox"/> で 記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)					
ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察で、生徒が主体となって呼名する。 ・身近にいる友達の写真を使用することで、生徒が選択してボタンを押すことができる。 ・この活動で「えこみゅ」の操作を覚えて、コミュニケーションツールとしてより一層活用できるようにする。 						
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の健康観察で呼名をするときに使用している。 ・現在は学級の友達の5名分だけだが、慣れてきた生徒の時には、教師のボタンを追加するなど難易度を変更することも検討している。 ・当番の際に、生徒によって支援の段階に違いがある。(一人でボタンを押して正しく呼名することができる生徒。教師がそばでどのボタンを押すか数回支援することで、呼名することができるようになってきている生徒など) 						